

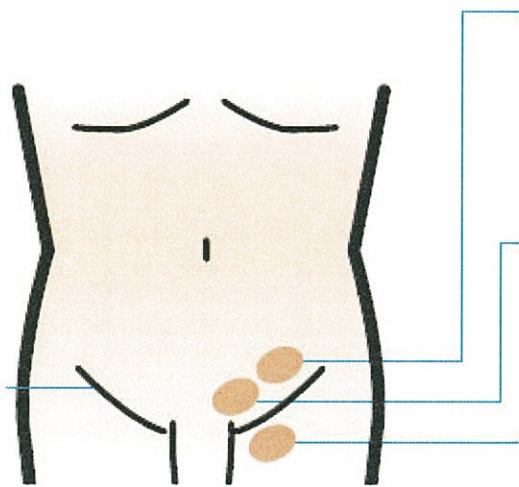
ヘルニア外来開設しました。

<はじめに>

この度ヘルニア外来を開設することに致しました。ヘルニアの対象は そけいヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアです。腰痛の原因となる椎間板ヘルニアは整形外科の領域ですので、対象外です。

<ヘルニアとは>

ヘルニアのなかで最も多くみられるそけいヘルニアは足の付け根（そけい部）が、瘤のようにはれる病気で、腸が出ていることが多いことから俗称 脱腸（だっちょう）といわれております。



外そけいヘルニア

外側から出てくるヘルニアそけいヘルニアでは一番多いヘルニアです。

内そけいヘルニア

内側から出てくるヘルニアです。

大腿ヘルニア

じん帯よりも下から出てくるヘルニアで出産を多く経験された痩せ型の女性に多く見られます。

<原因>

そけいヘルニアは乳幼児から高齢者まで起こりうる病気です。乳幼児は先天性（うまれつき）がほとんどですが、成人の場合は足の付け根の組織（筋肉など）が弱くなるのが原因です。とくに中年以上の男性で、立ち仕事や重いものをもつ機会の多い人が多いといわれております。

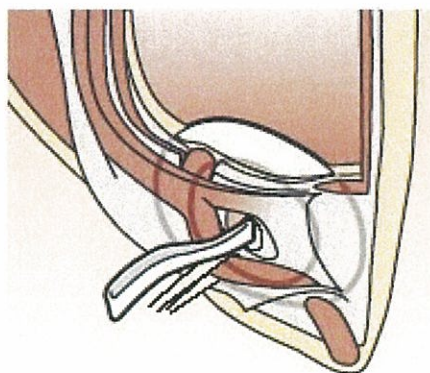
<治療法>

自然に治ることはありません。また、有効な薬や運動療法もなく、手術のみが唯一”治せる”治療です。放置すると嵌頓（かんとん：飛び出した部分が元に

戻らなくなること) し、腸が壊死してしまう可能性があり、緊急手術が必要になります。

<手術>

一般に手術はそけい部（足の付け根）の皮膚を約4cm切開し、出ている腸（腹膜）をおなかに戻し、メッシュ素材の人工物であなをふさぐ手術が必要です。当院ではダイレクトクーゲル法という方法を施行しております。



<麻酔方法>

本来全身麻酔で行う手術ですが、全身麻酔を行うには危険が伴います。そこで当院では、全身麻酔のほかに膨潤局所麻酔という方法を用いております。この麻酔法は注射針にて、そけい部に麻酔薬を注入するいわゆる局所麻酔です。そのため、手術室から歩行で部屋に戻ることができ、日帰り手術も可能です。高齢者や心臓疾患、呼吸器疾患など合併症のある患者様にも安心して手術を行うことができますし、仕事の都合上、入院は難しいという方にもおすすめです。

本疾患で困っている方、気軽にヘルニア外来を受診してください。

(ヘルニア外来)

診察時間；毎週水曜日 午前

受付；午前11時まで 外科受付

担当医；外科 岡崎 雅也